

新宮木協コミュニケーション誌

No.119

8/1

2007年(平成19年)
(昭和37年12月10日創刊)

発行/新宮木材協同組合 総務委員会
〒647-0025 新宮市あけぼの4番64号
TEL.0735-22-6105(代)
FAX.0735-22-6107



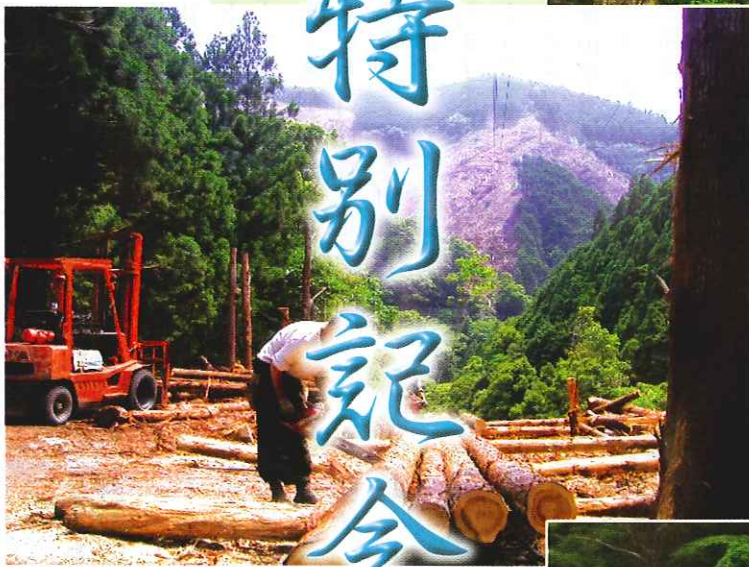
新宮

木協だより

<http://www.chuokai-wakayama.or.jp/s-mokkyo/> e-mail:s-mokkyo@cronos.ocn.ne.jp

盛夏特別記念市

8月9日(木)



(株)新宮原木市場にて
8月9日(木)、午前9時より
盛夏特別記念市を開催致します。
(出品量約2,000m³)



熊野川町：宝龍の滝

第五十八回 通常総会



総会風景

平成十九年五月二十三日(水)午後五時から那智勝浦町の万清楼にて第五十八回通常総会を開催し、提出議案は全て原案の通り承認可決されました。出席者三十一名(本人二十一名、代理人三名、委任状七名)

尚、今年の総会議長は三島正人氏に勤めて頂きました。これまで永年に亘り議長として総会運営を取りまとめて頂きました田野上之保氏に心から感謝申し上げます。



懇親会

平成十九年度新規事業

- ①新宮原木市場への経営安定支援
- ②製材鋸目立の運営並びに後継者養成支援
- ③インターネット利用による情報の収集・発信(ホームページの充実)

パソコン・インターネットの相談は
お気軽に
事務局までご連絡
ください。



ありくい材対策検討会

林業、製材業の方はご存知のとおり、本県紀南地方では古くから杉・桧製品の表面に変色や腐朽が頻繁に見られることがあり、材質や品質が低下するなど大きな問題となっています。また、近年その被害がますます拡大してきているようです。

このような状況を踏まえ、和歌山県木材協同組合連合会では平成十八年六月二十日(水)開催の理事会の議決を経て、販路拡大等について検討するため、「ありくい材対策検討会」を設置しました。

その第一段階として、去る平成十九年三月六日(火)〜九日(金)にかけて、各製材所において「ありくい材を使用した製材品の流通実態調査」を実施、貴重なデータをとることができました。

また、七月四日(水)には他府県の生産現場並びに市場における聴き取り調査を行い三重県の海山木協・松阪地区木協の方々から現状や取組みについて貴重なお話を聞くこと

ができました。

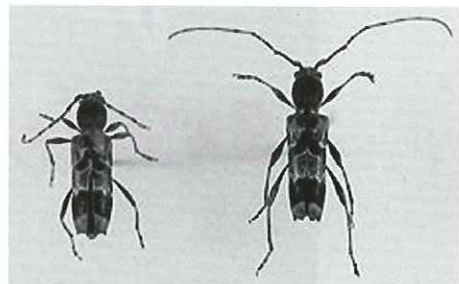
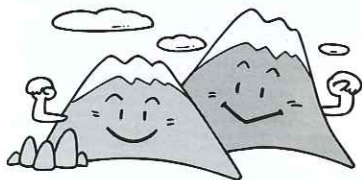
今後も調査や製材品の性能評価試験を行ないその結果に基づいて検討会を開きながら、「ありくい材」新製品の開発、販路拡大等を目指していきます。

※松阪地区木協では、ありくい材をあかねブランドとし

間伐材生産流通モデル検討会

今年度から東牟婁振興局管内において、低コストによる間伐材生産に向けた、技術研修などの新たな取り組みを始めることとなりました。今後増産が見込まれる間伐材について、利益を山側に還元しつつ、スムーズに製材所が受入れ出来るような、生産流通モデルを試行・検討します。平成十九年六月二十八日(木)には「第一回東牟婁郡間伐材生産流通モデル検討会」が開

かれ、関係者が多数参加し、間伐材の利用促進を図るための情報交換が行なわれました。



スギノアカネトラカミキリ (左:メス 右:オス)

て取扱っています。

若手鋸目立て加工技術者の育成にご協力を!

新宮製材工業協同組合 稲垣 幸二

このたび(平成十九年五月一日より)あけぼの目立て工場におきまして若手加工技術者の育成を目的に、帯鋸目立て加工業務を再開しました。現在当地域の製材業界において若手二代目、三代目、四代目の経営者が非常に厳しい木材業界の状況下にありながら一致団結して厳しい状況を乗り切ろうと努力しています。しかしながら当地域の帯鋸目立て加工業者の高齢化、廃業が進み新宮市内においては残り二業者となりました。帯鋸の目立て加工は製材所にとっては非常に重要であり、早期に若手加工技術者の育成が必要かと思われませんが、今のところ取り扱ひ数量が少なく大阪より単身にて来て頂いた加工技術者の一名にて行っております。

目立て加工技術のある程度身につけるまでには最低二年余りは要するそうで、早期に若手の見習いを雇い入れなけ

ればならないのですが、何分扱ひ数量が少なく現状の一名でも赤字の状況であります。将来は近場の配達も含め三人体制にて帯鋸機二十台余りの取り扱ひを計画しております。現在の技術者の加工技術はすばらしいものであります。どうか早期若手技術者の育成実現のために皆様のご協力をお願い申し上げます。

第三十回 児童生徒木工工作コンクール

当コンクールが昭和五十三年に第一回を開催してから三十回を迎えることとなりました。これを記念して、今年度に限り特別賞を四点加え、従来の賞についてもより充実したものにしておりますので、力作を期待しております。

また、木工展開催中には、来場記念として福引にて豪華景品を用意しております。すので多数のご来場をお待ちしております。



第二十七回 通常総会

林災協新宮分会

平成十九年七月四日(水) 任されました。(全員留任)

午前十一時より木材会館会 分会長 玉置研二

議室にて、辻新宮労働基準 副分会長 久保逸郎、田中多喜夫、

監督署長ご臨席の下、林災 瀬古伸廣

協新宮分会の第二十七回通 理事 前田章博、矢口信弘、

常総会を開催し提出議案は 岩本嘉四郎、浦木清十郎、

全て原案通り承認可決され、 植松 浩、谷口泰仁

役員改選により次の通り選 監事 窪田清司、後岡邦夫

メタボリックシンドローム その2

前回、メタボリックシンドロームに関して杜仲茶を飲んで効果があるかどうかということ、途中経過をご報告致しましたが、その後のことについて述べさせて頂きます。前回も書きましたように昨年七月の健診時に中性脂肪の数値が三七四あったのが、八月初旬から杜仲茶を飲みはじめ九月には一七五に下がりました。後もずっと一日に1リットルを続けておりましたので、今年になって四月にとっても期待をしながら検査をしたところ数値は三一九に上がっていました。(ショック)多分昨年数値が下がったのは夏バテで体重が減ったことが大きな理由だと思えます。

それ以来、気持ち切替えて杜仲茶からこれも今流行の胡麻麦茶に切りかえて飲用しています。(これは血圧に効果がありとの事)又、平行してテレビコマーシャルで有名な青汁三昧も毎日二袋飲んでいました。青汁というとか苦いようなイメージがありますが、これは本当に飲みやすく朝食時に一袋を水に溶かしてそして、夜晩酌の時にもう一袋を焼酎の水割りに溶かして飲んでいきます。(本当は飲酒しない方が体には良いのでしょうけど、と家内にはいっても言われていません)七月末に定期健康診断がありますので今はその結果がどうなるか待ちたいと思います。しかしまだまだ若いと思っておりますが、最近健康のことがやたら気になってくる年となりましたね。

次回もお楽しみに!

(事務局 柳瀬)





その1

玉置理事長より新年号で紹介していただいた

“光るカンナ屑”

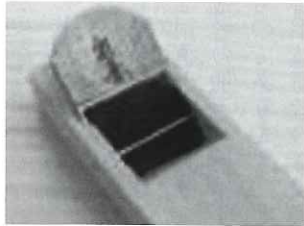
職人かたぎ譚

中野孝次著より

■ 柱のカンナ掛けっていうのは、ただ木の上つ面を削ればいいってもんじゃない。材ってのは生きもんだから、木取りをしたあと目に見えない狂いができている。木は一本一本その育った場所によって性質が違う。日陰に育った木、日当りのいいとこ育った木、水はけのいいとこわるいところに育った木、それぞれに性質が違う。そういう微妙な性質の違いを頭に入れて、サシを使ってまっすぐに、どこをとっても四角四面同じになるように削るのが、柱を削るってことなんだ。それには、木を見る目もある。サシガネも使えなくちゃならない、その上で四寸の仕上げカンナで頭か

ら尻まで一気に引ききると、一枚の長いカンナ屑がつながって出てくるくらいにならないくちやいけない。

だから檜の柱を削らされるってえのは一人前の職人として認められたってことで、大変な名誉だが、本当の修行が始まるのはそれからだ。ノコが使える、カンナが使えるなんてのは、これはもう基本の基本でね、いわば当り前のこと、本当の大工仕事ってえのはその先にあるのよ。それは継ぎ手、組み



手の仕組を覚えることだ。

(P 120)

■ なんだいなあのツーバイフオーとかいう建て方は。江川なんかがテレビに出て来やがって、ここにデータがありまして、アメリカじゃ木造家屋の

九十パーセントがツーバイフオーで建てられています、なんて宣伝してるのを見ると胸クソ悪くなるよ。あんなのは、あんな、家じゃねえ、ただの箱だよ、釘で板をおっつけただけの代物だよ。おれらには恥ずかしくってとてもあんなものは作れねえ。

職人ってのはね、わかる人がいてくれりやそれにこしたことはねえが、わかる人がいなくって自分で見えて気持ち悪い仕事はできねえものなんだ。人目に触れない隠れた場所でも絶対に手を抜かない。意地っていうものがあつてね、いい加減なやつつけ仕事をすると自分がいやになるんだよ。金銭の問題じゃねえんだ。

(P 101)

■ 要するにおれは、昔は辰叔父(光るカンナ屑)作中の主人公で職人芸、職人かたぎの大工の棟梁)のような職人がいたってこと、そういう人の持つたわがはどれくらいのものであつたかってことを、若いあんな方にいくらかでも知ってもらいたくてながながとこうい昔話をしたわけだ。おれはいまでもそうやって代々伝えられてきた日本の木匠

のわざを、世界に誇るにたる日本の宝と思ってるからね。木を生かさねえようなやつはやがて木に仇をうたれるよ。木は生きものなんだ。二百年生きた木は死んでも二百年は生きる。そのいのちを人間は大事に生かしてやらなくちゃいけない。その木のいのちをこうムダにするようじゃ、この国ももうしまいかもしれねえよ。

(P 203)

その2

木材新聞コラム

「辛口の酒」より

目からウロコの家づくり

プロがホンネで語るヒント集

榎戸正人著より

■木を活かすには

木材業社が住宅を造ると、内装に木を使い過ぎてしまうのである。気も使い過ぎると疲れるが、木も使い過ぎると部屋の空間が重苦しくなり、ロτζジや喫茶店など短い時間過ごすのなら良いが、一年中そこで暮らすとなるとかえって息苦しい。

年を経るにつれ、木材は陽に焼け色が濃くなるので、建てた時にはそれほどには思わ

なくても、だんだんと暗く重く感じられてくる。木材業者と言えども住宅に進出する以上、売るのは木材ではなく住まいなのだから、その点は心しなくてはならない。

(中略)

日本の気候、つまり夏の高温・多湿と冬の低温・乾燥の中で、家に住む人が健康で快適に暮らすためには少なくとも部屋の天井、壁、床の総面積の1/3、出来れば1/2は木材を張るべきである。しかも天然素材から作った浸透性の塗料を塗り、表面に皮膜を作り木材の調湿作用を阻害する塗料や、揮発成分で健康を害するような塗料、廃棄した時、公害を発生させるような塗料は避けなくてはならない。

(中略)

健康住宅だの健康な住宅資材というと、すぐに外国の物を有り難がるが、もともと日本の住宅は世界に冠たる健康



住宅であったのだから、その知恵を現代に活かせば、日本の気候風土に合った資材や塗料は作れる筈だ。いや、それを作らないと、いくら木を使いましよう、壁や床に木を張りましようと言っても片手落ちになってしまうのである。

(P178)

■ツーバイフォーの一考察

ご存じの方もいるかと思うが、当社(榎戸材木店)は日本でツーバイフォー工法がオーブン化されると同時に部材の取り扱いを開始した草分け的存在であった。

そうしてツーバイフォー建築に対する知識や経験が増すにつれ、払拭しようのない疑念が積層していった。「この工法は日本の気候風土には合わないのではなからうか」

在来構法の壁の中は床下から天井裏に空気が環流する。だから施工が悪いと隙間風が入ったりするのだが、木材を健全な状態に保つには空気にあてる事が大切で、本当は壁の中に断熱材を詰め込むなんて木材にとっては迷惑千万な話なのだ。それでも在来構法なら五十ミリ程度の断熱材であれば壁の中にはまだ十分な

空間がある。しかしツーバイフォーでは壁の中は完全に仕切られてしまっており、空気の環流はない。

(中略)

かく言う私の自宅はツーバイフォー住宅なのだが、どうしたら高温多湿の日本の気候風土に耐えられるか考えに考えて建てた。樹種は腐りにくい米材の代表格であるベイヒバである。総ベイヒバ造りのツーバイフォー住宅はウチだけだろう。さらに在来構法と同様、壁の中を床下から天井裏に空気が環流するように工夫した。

ここまでやればツーバイフォー住宅だつて五十年やそこらで壊れることはない。そのノウハウを得意先の工務店に説明したのだが、まったく耳を貸さない。「乾いたベイヒバは固くて釘が打ちにくいし、狂うからヤダー!」

「壁の中に通風層を造るのは手間がかかる」、「建設省も金融公



庫も認めてるんだからいいじゃないか。壁の中が腐ったつて、俺達の責任じゃない」さすがにアホらしくなつてツーバイフォー部材の取り扱いはやめた。

ツーバイフォーはダメと言うつもりはない。ちゃんと日本の気候風土に合うように改良して建てれば長持ちするのだ。かつての在来構法の建築基準法施工令が最低基準であったためにギリギリ最低限で建てた家は地震で壊れた。今のツーバイフォーの金融公庫共通仕様書は最低基準で、あの通りに建てたら、公庫の返済が終わつたと同時に建て替えずにはなるまい。「ツーバイフォーは地震に強い!」そうですとも、建ててから二十年位はネ。でも建ててから三十年、四十年経つて地震に見舞われたら、倒壊する家が沢山ですヨ。隣の新耐震基準を守つて建てた在来構法住宅は、びくともしないでしょ。その時、新聞は書き立ててくれるだろうか? 「在来構法住宅は地震に強かつた」、「やっぱり日本には在来構法!」 (P18~P21)

国家百年の計で

朝日新聞 平成十九年四月二十六日 「経済気象台」より

わが国には国を挙げて取り組むべき課題がいくつもある。特に地方過疎化の進行と人口流出の問題には何としても歯止めをかけなければならぬ。

関連するが、山間部にある杉林などの人工林問題も放置できない課題だ。下流域の住宅地を水害から守るためにも森林の健全な再生産は不可欠である。そして地球温暖化対策。脱化石燃料への取り組みは現在を生きる人間にとっての義務だといつても過言ではない。

そういうわが国でもし杉の木から燃料油、バイオエタノールが大量に採れるようになったらどうか。植物は育つ際に大気中のCO2を吸収する。だから杉の木から作る油は大気中のCO2で作つたのと同じ。燃やして発生するCO2は再び原料となる木々が吸収する。地球温暖化対策にとつての決定打となる。しかも山から杉の木を大量に切り出し、そのあとに植林をしていくことになれば山村において林業はよみがえり、近くにエタノール工場なども建設

されれば地方活性化の大きな一助となるだろう。放置林問題も解決する。

海外で先行するバイオエタノールは主としてサトウキビやトウモロコシを原料としているが、木材を原料とする製造法も研究されている。特殊な酵母や微生物の開発によりセルロースに含まれる糖分でエタノール製造が可能になるのだという。

わが国にあつては国の補助金で廃木材を原料とする取り組みが進められている。もちろん廃木材リサイクルも結構だが、この「木材を原料とするバイオエタノール製造」についてはより大きな視野での取り組みを望みたい。技術的にも異物の混じらない新木材を原料とする方が楽だろう。我が国の恵まれた自然環境で育まれる森林資源、この活用による脱石油の可能性を文字通り国家百年の計で追求して欲しい。我が国民の「ものづくり」DNAが力を発揮するテーマである。

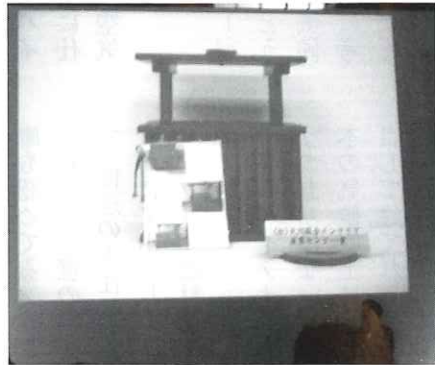
日本木材青壮年団体連合会 第五十二回 全国会員福岡大会

平成十九年六月九日(土)正午、日本木材青壮年団体連合会第五十二回全国会員福岡大会が開催されました。平成十八年度会長の角博氏の挨拶の後、国歌斉唱、日本木材青連綱領、日本木材青連会歌を歌い、第三十一回全国児童・生徒木工工作コンクールの表彰となりました。緊張の面持ちで表彰をうける児童の中で、(財)



大会風景

又、大会に先立ち、福岡市内にある福岡市木材協同組合を訪問し、会議室にて理事長の鷹野恭利氏、製品課長の江藤政廣氏、製品課の西寛久氏の三名の迎えをうけた一行



表彰式で映写された瀬田莉子さん(千穂小学校)のテーブル型ボックス

後日、本人に郵送されるとのアナウンス。会場からの笑いと拍手に包まれながら授賞式並びに大会は無事終了しました。

又、大会に先立ち、福岡市内にある福岡市木材協同組合を訪問し、会議室にて理事長の鷹野恭利氏、製品課長の江藤政廣氏、製品課の西寛久氏の三名の迎えをうけた一行

大川総合インテリア産業振興センター賞に選ばれた瀬田莉子さんのテーブル型ボックスの表彰が行われました。残念ながら、出席を果たせなかった瀬田さんに代わり、新緑会会長の江崎氏が壇上に立ち、代理受賞となりましたが、表彰状の準備が整っておらず賞状の受渡しができなかったというハプニングに見舞われるも、



福岡市木材協同組合での意見交換会の様子

三代目登場!

江崎製材
えざきひろあき
江崎大晃さん(33才)

会社概要

昭和40年 祖父江崎幾男が現在地、那智勝浦町下里で製材所を始める。その後、父江崎輝一が継承し現在に至る。



横顔

製材に携わってもう11年が過ぎました。今年度新緑会会長を務めさせて頂いていますが、しみじみ周りの方々に支えられていることを実感しております。先の見えない厳しい時代ですが粘り強く、あらゆる状況に順応し変化しながらがんばっていきたいと思います。まだまだ若輩者ですがこれからも皆様のご指導ご鞭撻の程よろしく御願ひ致します。

出張木工教室

紀南木材新緑会では、新宮市内の六年生を対象に、木のぬくもりに触れ、木に親しんでもらうことを目的として、出張木工教室をそれぞれの学校で開催しております。今後、多くの人々に、木に親しんでいただけるような活動をしていきたいと願っております。



製作風景



◆◆原木市場平均単価◆◆

m³単価 ()は前年度

樹種	形状	平成19年			備考	
		5月	6月	7月	長さ	径
杉	4m小丸太材	7,600 (6,000)	7,300 (6,200)	6,800 (6,800)	4	6~12
	3m柱材	9,600 (6,000)	8,800 (6,000)	6,700 (6,900)	3	14~16
	4m中目材	10,700 (9,200)	12,100 (9,000)	11,200 (8,100)	4	14~28
	30cm上材	13,500 (13,000)	16,200 (11,600)	14,200 (11,000)	3~5	30~
檜	4m小丸太材	11,400 (8,200)	11,100 (9,400)	9,500 (9,800)	4	6~12
	3m柱材	11,500 (9,700)	9,000 (11,300)	9,300 (18,200)	3	14~16
	4m中目材	16,100 (19,600)	14,300 (19,500)	13,500 (24,000)	4	14~28
	30cm上材	29,900 (37,400)	26,800 (31,000)	23,100 (34,500)	3~5	30~
杉総平均単価		11,200 (9,900)	11,900 (9,400)	10,600 (8,700)		
檜総平均単価		18,000 (20,300)	13,400 (19,100)	12,700 (20,200)		
総平均単価		14,600 (12,900)	12,500 (11,700)	11,100 (10,500)		

概況

全国的に出材は減少傾向にあります。例にもれず当市場においても七月扱量は一、〇〇〇m³余と激減する。(昨年は二、四〇〇m³) 今後についても(昨年比較)さらに出材は減少する可能性が高い。相場については、出材が減少して杉中目材は強含みである。桧中目材は保合、柱材は杉桧とも依然として売りづらく弱含みで推移している。来る八月九日の盛夏特別記念市は杉良材が多量出品されるの

で、いつになく期待が持てそうである。



行事予定

- ◆盛夏特別記念市
平成十九年八月九日(木)
 - ◆第三十回児童生徒木工工作コンクール
平成十九年九月二十九日(土)・三十日(日)
 - ◆第四十八回木霊塔建立供養式
平成十九年十月十五日(月)
- 献木者 (株)新宮原木市場

新入社員紹介

(株)新宮原木市場

山本佳史 さん

生年月日/1981年(昭和56年)5月29日

年齢/26才

星座/ふたご座

血液型/AB型

趣味/ホームページ作成、ソフトバレー

特技/英会話、ピアノ

ひとこと/この度、経理として入社させて頂くことになりましたが、総合的に木材の事について勉強していきたいと思っております。両親共、元銀行員でしたので特に数字には大いに鍛えられました。



お盆休みのお知らせ
八月十二日(日)から十九日(日)まで休業させて頂きます。(事務局)

編集後記

◆七月十六日、新潟地方で震度六強の大地震がありました。平成十六年十月二十三日に起こってから三年足らずの間に二回の被災です。心からお見舞い申し上げます。
◆本号が発行された頃には参議院議員選挙の結果も出ていると思えます。与野党の勢力図はどうなっているでしょうか。
◆社会保険庁の年金問題が二

ユースで取り沙汰されていきます。時間に余裕のある方は一度確認に行くことをお勧めします。
◆「光るカンナ屑」、「目からウロコの家作り」の両書よりランダムセレクション(自由な選別)をさせて頂いた抜き抜粋いたしました。この前書からはいい家づくりのための素晴らしいしきこだわりの職人氣質(大工気質)について触れることが出来、又、後書からは現実の木材経営者であり、木の語り部としての著者ならではの実践的木材利用方法に大いに啓発させられました。ただ作者の意図を思う余りの長文の掲載については、ミスコー

テーションがあったかも知れません。内容共々読者のご教示、ご指摘を待ちたいと思います。

「職人氣質」とは:

職人社会にある特有の気質粗野で頑固だが、実直であるというような性質(広辞苑) 銭金にかかわらず、納得行く仕事をしなければ気が済まぬ気質(筆者が加筆)

「光るカンナ屑」一般に檜の薄く透き通ったカンナ屑をいう。五ミクロンの究極の均等の厚さのものでできる。そのためには、刃は納得のいくまで研ぐこと、そして、仕込み角三七・五度にする。その時出てくるカンナ屑はケズリ花という。法隆寺棟梁、西岡常一氏の唯一の弟子、小川三夫氏談(NHK/アイシンシユタインの目より)

◆若手の紹介・図書の紹介等盛り沢山の記事を集めました。また、今回紹介した「光るカンナ屑」、「目からウロコの家作り」に加え(社)全国木材組合連合会常務理事藤原敬氏が執筆に携わった「ウッドマイルズ 地元の木を使うこれだけの理由」ウッドマイルズ研究会などを取り揃えて事務局にご用意しております。盆休みごゆっくりと目を通して頂ければと思います。

末社詣り

組合恒例の末社詣り行事を旧暦の元旦にあたる2月18日(日)に行ないました。当日は春を思わせる程非常に暖かい日となり、参加した人は神社にて頭をたれ業界の隆昌と安泰を祈願いたしました。各神社

を参拝後はかわみにて伝統の「どじょう汁」に舌つづみをうち旧正をお祝い致しました。

(速玉大社-牛ノ鼻神社-中村神社-鳥止野神社-阿須賀神社-神倉神社(遥拜)-王子神社(遥拜))



末社詣りの起源はハッキリしませんが、古老に訊いたところでは何でも明治の中期頃には始まっていたようであります。末社とは無論速玉大社の末社で

あり、平生ご無沙汰している末社へお参りして業界の繁栄を祈りお互いの親睦を深めるのが目的であります。



新婚さん紹介



速水祥久さん

(速民製材)

昭和48年5月4日生

恵理さん

昭和57年9月20日生

平成19年2月25日挙式

二人の最初の出会いは患者と看護師でした。一ヶ月後友人の紹介で再会し、現在にいたります。今月には第一子が産まれる予定です。今後は家族と共に今よりもより一層明るく楽しい家庭を築きながら公私共々前向きに進んで行きたいと思っております。



速水洋平さん

(南丸洋)

昭和52年12月24日生

梨沙さん

昭和53年8月23日生

平成19年3月4日挙式

私たちは、同じ高校の顔見知りで、三年前の偶然的な再会をきっかけに交際が始まり、今年三月に結婚しました。楽しい家庭を築いていきたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。